

内閣総理大臣賞

無駄にしないように。

名古屋市立高針台中学校 3年

加藤 茉奈

私の家には、ゴミ箱がたくさんある。可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ。カラフルなゴミ箱達に書かれている文字に、私ははじめ「げっ」と顔をしかめたのを覚えている。母は、いつからかゴミの分別をしっかりとするようになった。ゴミ箱が増え、ゴミ捨てをする日が増え、どれがどのゴミか分からなくて、ゴミ箱達と睨めっこする日が増えた。私はうんざりしながら母に文句を言う。すると、母に思いもよらぬ言葉を言われた。

「ゴミ分別しないと、税金の無駄遣いだよ。」

税金という、ゴミとは全く関係なさそうな単語が出てきて、驚いた。なぜ、ゴミの分別をしないことが税金の無駄遣いに繋がるのだろう。不思議に思って、詳しく調べてみると、興味深い記事を見つけた。

日本のゴミ処理は、税金によって行われている。市区町村が町を綺麗にするために、税金を使用しているのである。しかし、本来のゴミ処理にかかるお金よりも、実際に使われているお金は多額だ。なぜならば、ゴミの分別が正しく行われていないために、通常よりもゴミ処理に手間がかかってしまうからなのだそう。

例えば、可燃ゴミの中にスプレー缶やライターなどが入っていた場合、清掃車の中で爆発が起こり、一台千万円という清掃車が使用不可能になる。実際、年間六百件もの清掃車火災が起きている。更に、可燃ゴミの中に少しでも不燃ゴミが入っている場合、それらが

積もって焼却炉の投入口が詰まってしまうことがある。その際、焼却炉の火を一度消してかき出さなくてはならないが、その後の再点火には三百万もの税金がかかる。

これらは、私たち一人ひとりが丁寧にゴミの分別を行い、少しでもゴミ処理への負担をなくせば減らせたはずの「無駄な税金」だ。

最近、税金の無駄遣い、という言葉聞いた。それは、ほとんどが政治家に対する言葉であったが、私は、それを唱えた人達に聞きたい。

「あなたは税金を無駄にしていますか」と。

日本人は税金に対して厳しい、と覚えることがある。でも、一度だけで良いから、違う視点で「税金」の在り方を見てみてほしい。

自分達が住む街が綺麗でいれること、無料で学校に行けること、安く病気の治療ができること、なにより、今私達が生きていること。

税金の支えによって、「今」がある。その恩恵を、私達は忘れてはならない。

自分が支払った税金を、「無駄」にしないように、私達にもできることがあると知った。少し意識して、ゴミを分けて捨てるだけ。たったそれだけでも、たくさんの「豊かさ」が守られる。

だから私は今日も、ゴミを片手にカラフルなゴミ箱達と睨めっこを始めるのである。